

第19回日本デフ陸上競技選手権大会

兼 第2回日本デフ U18陸上競技選手権大会

要項

【海外から招待選手も参戦予定！パラ選手もオープン参加可能！】

- 1 主催 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 公益財団法人東京陸上競技協会
- 2 協力(予定) 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会
- 3 後援(予定) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 公益財団法人日本陸上競技連盟 スポーツ庁
東京都 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会
一般財団法人全日本ろうあ連盟
- 4 協賛(予定) ミズノ ニシ・スポーツ つなひろワールド ドクターエア 大塚製薬 ほけんの窓口グループ
三菱 UFJリサーチ&コンサルティング アルファロメオ 山田昇記念財団
- 5 スケジュール 10月 1日(土) 10:00 開会式 11:00 競技開始
10月 2日(日) 10:00 競技開始
※大会当日に荒天等のために競技が開始または継続できない場合、競技中止とその取扱いについては総務が決定する。
- 6 会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1-1
TEL: 03-3421-6199
- 7 競技種目 男子(17種目)
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m(一般のみ) 110mH 400mH
3000mSC 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(一般 7.260kg 高校 6.0kg)
円盤投(一般 2.0kg 高校 1.75kg) やり投 十種競技

女子(17種目)
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m(一般のみ) 100mH 400mH
3000mSC 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(4.0kg)
円盤投(1.0kg) やり投 七種競技

※ハンマー投競技については9月24日、25日開催予定の「第132回日本体育大学競技会」を対象競技会とする。申込は別途案内します。

◆パラ競技対象種目 ※JAAF公認、オープン競技

男女(11種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m

走高跳 走幅跳 砲丸投(高校6.0kg) やり投

※JAAF競技規則で実施できる障害種(クラス)に限る。WPA申請は行わない。

※トラック種目は全て男女1組ずつ(パラ・知的から8名ずつまで、ブラインドから4名まで先着順)まで、
フィールド種目は男女4名ずつまで(パラ・知的から4名ずつ先着順)とする。

※クラス分けをせずに、基本オープン種目としてデフ選手権大会とは別に組編成を行うが、

トラック種目においては参加者が3名以下の種目、5000m以上の種目はデフ選手権大会と混合で組編成

を行う。

※フィールド種目においては試技を6本行う。

※対象種目以外の種目に出場希望の場合は「20 お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆日本デフ U18 対象種目

男子(12種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 4×100mR
走高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(高校 6.0kg) やり投

女子(11種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 4×100mR
走高跳 走幅跳 砲丸投(4.0kg) やり投

8 参加資格 2022年度日本陸上競技連盟登録競技者のうち、(1)～(7)のいずれかに該当する者。

- (1) 一般社団法人日本デフ競技協会登録者
- (2) 各地区ろう学校体育連盟登録者(中高生のみ)
- (3) 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟登録者
- (4) 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟登録者
- (5) 特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会登録者
- (6) 主催者が参加を認めた一般競技者
- (7) 主催者が参加を認めた者(主に本協会強化委員会が特に推薦する本協会登録競技者)

※ただし、エントリー数の関係で競技運営上困難が生じた場合は、上記の参加資格を有する競技者であっても参加を制限する場合がある。

9 参加制限 1人の出場種目については制限しないが、参加申込後、欠場する場合は、**欠場届**を競技会前日(9月30日)までに日本デフ陸上競技協会競技運営委員会宛にメールで提出するか、競技会当日、招集開始前までに競技者係へ提出しなければならない。

10 競技規則 2022年度 日本陸上競技連盟競技規則
日本デフ陸上協会規則、及び本大会申し合わせ事項(別紙)による。

11 表彰 日本デフ陸上競技選手権大会対象種目のみ、男女各種目1位～3位にはメダルと賞状を授与する。
※ただし、2名出場の場合は1位のみメダルと賞状を、3名出場の場合は1位と2位にメダルと賞状を授与する。

12 聴覚障害者の配慮事項

- ①各競技場所に手話通訳を配置し審判や役員と円滑にコミュニケーションが行えるようにする。
- ②スタート合図には、NSHI製光刺激スタートシステムを設置する。また、今大会より中長距離用ランプも設置をする。
- ③フライングについても、フライング伝達装置にて選手に信号を送る。
- ④情報保障として、大型スクリーンでの記録速報、選手紹介に手話通訳しを投影し情報を提供する。

13 参加料

一般	: 一種目 5,000円(傷害保険料を含む)
大学生	: 一種目 3,000円(傷害保険料を含む)
高校生	: 一種目 800円(傷害保険料を含む)
中学生以下	: 一種目 800円(傷害保険料を含む)
リレー	: 1チーム 1,000円(傷害保険料を含む)

※傷害保険補償内容 死亡・後遺障害 100万 入院(日割)1,500円 通院(日割)1,500円(大会参加中に負傷した場合に限る)

※参加料は理由の如何にかかわらず返金しない。

14 申込方法について

(1) **9月11日(日)までに**大会参加申込書(エントリーシート)をEメールに添付して送ること

送付先: 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 競技運営委員会宛

E-mail: games@j-daa.or.jp

※「8 参加資格」(3) (4) (5)に該当し、パラ競技種目にエントリーする方は先着順とさせていただきますので、参加料の振込は主催者が参加を認めたのを確認してからでお願いいたします。

(2) 参加料の振込先は下記の通り

参加料は申込者(代表者)の名義で下記口座に振り込むこと。

銀行名 : みずほ銀行
店名 : 横浜駅前支店
預金項目 : 普通
店番号 : 292 口座番号 : 2914438
口座名 : 「ニホンデフリクジョウキョウギキョウカイ キョウギフ」

15 競技用具について

棒高跳ポールを除き、用器具は主催者が用意する物を使用するものとする。但し、持参した用具の使用を希望する者は、公式計測員の検査を受けて合格したものに限り、個人所有のものが使用できるが、当該用具は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

(1) 砲丸は 一般男子 7.260kg、高校男子 6.000kg、中学男子 5.000kg、
一般・高校女子 4.000kg、中学女子 2.721kg を使用する。

(2) 円盤は 一般男子 2.000kg、高校男子 1.750kg、一般・高校女子 1.000kg を使用する。

(3) やりは男子 800g、女子 600g を使用する。

16 個人情報取り扱いについて

主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。

尚、取得した個人情報等は大会出場の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

17 ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

●TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟 医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

●未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(18歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。①本大会に参加する未成年者は、HP(<http://www.j-daa.or.jp/jdaa/taikai>)にある同意書をダウンロードして熟読し、署名、捺印の上、その原本を大会に持参し、携帯すること。②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピ

ング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事を NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本デフ陸上競技協会競技運営委員会に原本を提出すること。

18 第2回世界デフ室内陸上競技選手権大会日本代表選考について
選考要項(別紙)に基づいて選考を行う。

19 その他

- (1) スパイクのピンの長さ、厚底シューズの規定については、2020年12月より適用される WA 規則に従ったものを使用すること。 ※詳細は当協会 HP 参照。<http://www.j-daa.or.jp/jdaa/reinforcement>
- (2) ナンバーカードは、主催者が用意します。
- (3) 本大会は光刺激スタートランプを使用します。(短距離種目/ハードル種目/中長距離種目)
- (4) ユニフォームについて
当協会の個人登録者はユニフォームのデザインは問わないが、胸にチーム名・社名ネームがないものを着用のこと。
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者側にて行うが以降の責任は負わない。
- (6) (一社)日本デフ陸上競技協会ジュニア・ユース発掘事業を兼ねて実施する。
- (7) 大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。

20 お問い合わせ先

一般社団法人日本デフ陸上競技協会 競技運営委員会 E-mail:games@j-daa.or.jp